

7 雑司が谷地域

雑司が谷鬼子母神



1 地域の特徴

(1) 位置

区の南部に位置する雑司が谷1丁目から3丁目、南池袋3、4丁目の区域です。北側は池袋東地域、西側は目白地域、南側は高田地域、東側は文京区に接しています。

(2) 市街地の変遷

古くから鬼子母神の参詣人でにぎわい、江戸時代から伝わる「すすきみみずく」は区内に残る数少ない郷土玩具です。延享2(1745)年、鬼子母神門前町屋が町奉行支配となります。また、現在の雑司ヶ谷霊園に、鷹狩りの鷹を飼育する御鷹部屋がありました。

明治初期に、数多くの著名人が眠る雑司ヶ谷霊園が開設され、市街地は目白通りや雑司ヶ谷道、東通りに沿って広がりました。

大正時代になり、王子電車（現都電荒川線）が大塚から鬼子母神まで延長されます。

昭和初期には、日出通りや都電などにより都心と結ばれ、利便性が高まり、雑司が谷2丁目の低地部や南池袋3丁目の台地部を中心に密集市街地が形成されていきました。また、戦災による被害をあまり受けず、静かな住宅地としての性格を強めていきます。

現在は、明治通り沿いにマンション等の立地が進むとともに、台地部に比較的良好な住宅地が形成されています。平成20(2008)年には、東京メトロ副都心線が開通し、新たに雑司が谷駅が開設されました。

図表 5-60
鬼子母神参道のケヤキ並木
(昭和34(1959)年頃)



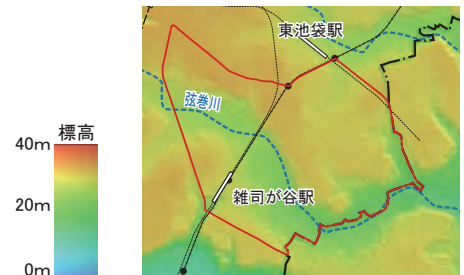
資料：写真で見る豊島区50年のあゆみより転載

(3) 主な景観要素

①地形・自然

- みどりの拠点である雑司ヶ谷霊園の周辺は、潤い豊かで閑静な街並みが形成されています。
- 江戸時代から桜の名所である法明寺は、春に多く

図表5-61
雑司が谷地域の等高線



資料：基盤地図情報数値標高モデル(国土地理院)をもとに作成

の人々が花見に訪れます。

○かつての雑司が谷村を流れていた弦巻川は、現在、暗渠となっています。

○台地と低地による地形の変化があり、坂や階段が多くあります。

②歴史・文化

○雑司ヶ谷霊園は、多くの文化人や芸術家が眠る静謐な空間であるとともに、周辺には寺社や史跡などの文化財が数多くあります。

○国の重要文化財（有形文化財）に指定されている鬼子母神堂や雑司ヶ谷道など、江戸時代からの歴史が残されています。

○明治40（1907）年にアメリカ人宣教師マッケーレブによって建てられた現在の雑司が谷旧宣教師館は、東京都指定有形文化財に指定されています。

○大正13（1924）年、私学の音楽大学として最も歴史のある東京音楽大学（当時東洋音楽学校）が神田区から移転してきました。

③まち・界隈

○旧高田小学校跡地に、防災機能を備えた雑司が谷公園が整備されています。

○明治通りや目白通り沿いは、商業・業務ビルやマンションによる街並みが形成されています。

○都電荒川線が併走する環状5の1号線と補助81号線の整備が進められています。

○鬼子母神参道や弦巻通りなどには、商店街が形成されています。

○雑司が谷地域の観光拠点として、「雑司が谷案内処」が鬼子母神参道に開設されています。

④人々が織りなす魅力

○雑司が谷鬼子母神御会式³⁶や大鳥神社の酉の市をはじめとして、様々な祭礼や行事が行われています。

○雑司が谷の自然と文化を継承する「雑司が谷がやがや」プロジェクトが、日本ユネスコ協会連盟³¹によるプロジェクト未来遺産³²に登録されました。

図表5-62 法明寺と桜



図表5-63 東京音楽大学



画像提供：東京音楽大学

図表5-64 大鳥神社酉の市



2 景観まちづくりの視点

- 江戸時代から参詣や遊興に人々が訪れ、にぎわってきた歴史や文化を感じられる景観まちづくりが必要です。
- 雑司ヶ谷霊園や寺社などのみどりを生かして、潤いの広がる景観形成が必要です。
- 地域の人々による歴史・文化の継承や緑化などの取り組みと連携した景観まちづくりが必要です。

31 日本ユネスコ協会連盟：26ページ参照

32 プロジェクト未来遺産：26ページ参照

36 御会式：27ページ参照

3 景観まちづくり方針

1 ゆとりと潤いを創出する

- 雑司ヶ谷霊園は、みどりの潤いと安らぎが広がり、歴史を感じられる静謐な空間づくりに取り組みます。
- 暗渠となった弦巻川の流れが、道筋で感じられる街並みをめざします。
- 小篠坂や南坂、御嶽坂など地形の表情を生かした景観形成をめざします。
- 日出通り沿道は、四季の彩りが感じられるみどり豊かで風格ある街並みを形成します。

図表5-65
雑司ヶ谷霊園とサンシャイン



図表 5-66
雑司が谷鬼子母神の大イチョウ



2 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する

- 鬼子母神の大イチョウや大門ケヤキ並木など、人々に親しまれてきたみどりを引き継ぎ、歴史と潤いを感じられる景観を形成します。
- 雑司が谷旧宣教師館は、建築当時の様子を伝える貴重な木造洋風建築として維持・保全し、景観まちづくりに活用していきます。
- 鬼子母神の御会式や大鳥神社の酉の市など、地域の歴史・文化を受け継ぐ人々の姿を大切な風景として育てていきます。
- 個性的な飲食店が並ぶ東通りは、池袋東地域の寺町街区と連携して、池袋副都心に隣接しながらも落ち着いた雰囲気を楽しめる街並みを形成します。

図表 5-67 雑司が谷旧宣教師館



3 人々の生活・営みを映す

- 雑司が谷駅周辺は、地域の人々が活発に交流し、にぎわう生活拠点にふさわしい街並みを形成します。
- 鬼子母神参道や弦巻通り、東通りの商店街では、日常生活に密着した親しみのある街並みをめざします。

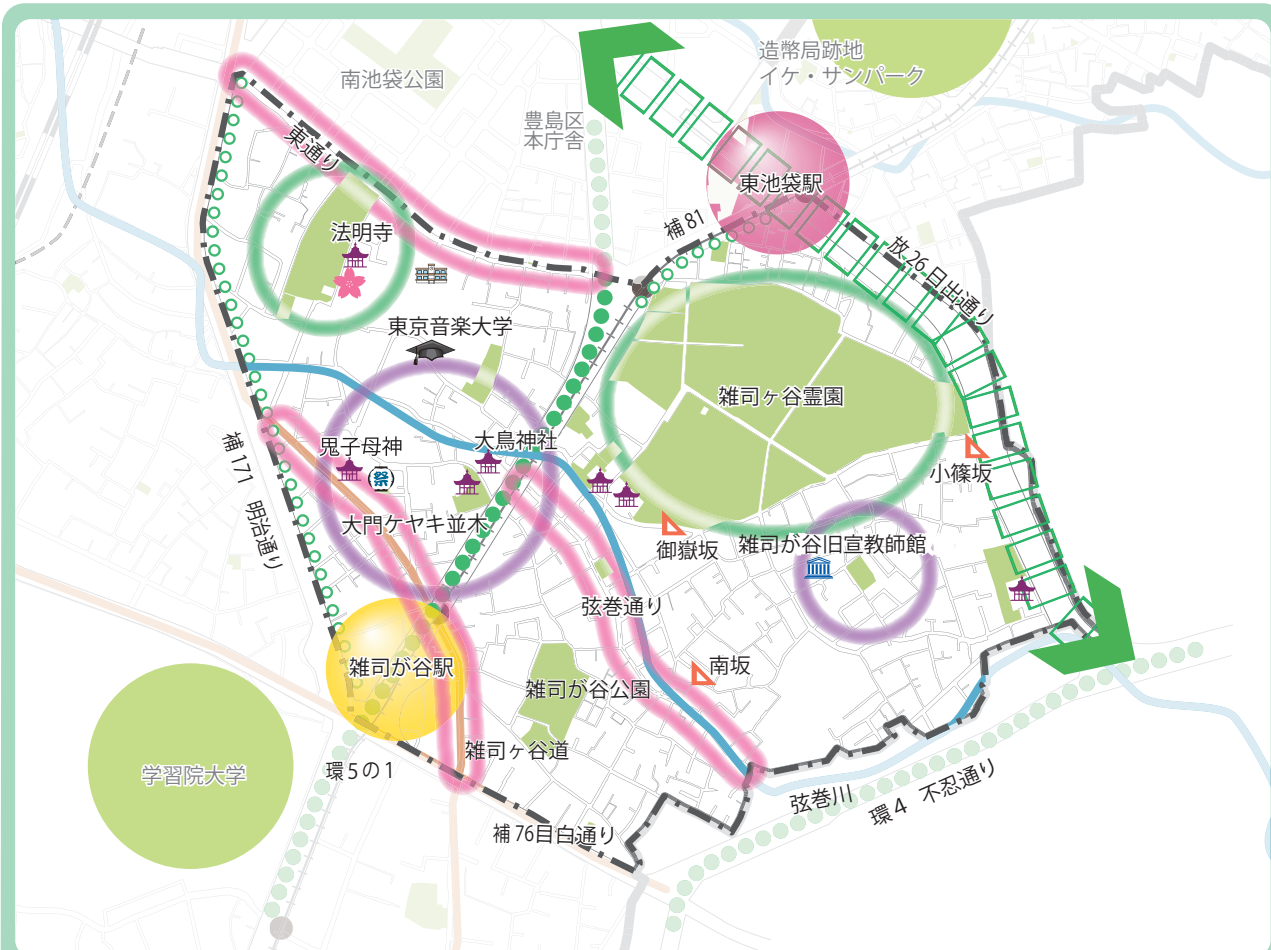
4 地域の特性を引き立てる

- 日出通りや目白通り沿道では、みどりの潤いを感じられる安全で快適な歩行者空間を形成します。
- 都電の走る姿を惹き立てるため、街中の彩りや車窓からの眺めを意識した景観形成をめざします。
- 趣のある住宅地の雰囲気を残しながら、安全で快適な街並みを形成します。
- 造幣局跡地に整備された防災と文化・交流機能を備えた拠点を中心に、雑司が谷と池袋副都心、大塚を結ぶ、新たな人の流れを生み出します。

5 個性ある街並みを創出し、楽しめる仕組みを構築する

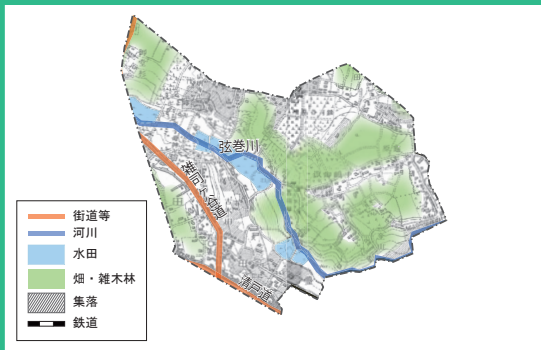
- 雑司が谷七福神めぐりなどと連携し、江戸時代の雰囲気を楽しめるフットパスマップの作成など、人々の回遊性を高めていきます。
- プロジェクト未来遺産に登録された地域活動や緑化の取り組みなどと連携し、江戸の文化とみどり豊かな景観まちづくりに取り組みます。

図表 5-68 雑司が谷地域の景観まちづくり方針図



第5章
地域別景観まちづくり方針（雑司が谷地域）

明治42(1909)年の市街地の様子



凡例

	ゆとりと潤いを創造する		鉄道駅周辺
	歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する		みどりの骨格軸
	人々の生活・営みを映す		みどりの回廊(幹線道路)
	地域の特性を惹き立てる		坂
	個性ある街並みを創造し、 楽しめる仕組みを構築する (全域)		文化資源
			新たな文化拠点
	寺社		旧道
	花の名所		旧河川
	大学		神田川
	教育施設		公園など
	祭り		みどりの回廊(街路樹)
			鉄道(JR)
			鉄道(東武・西武)
			都電
			都市計画道路未着手区間

出典：豊島区地域地図第四集 2011、豊島区史跡めぐり